

# 京成グループ 2016年3月期決算説明会



## 目次

1. 中期経営計画「E2プラン」の総括
2. 京成グループの取り組み
3. 2016年3月期 連結決算
4. 2017年3月期 連結業績予想
5. 連結業績の推移
6. 参考資料

	2016年3月期 実績
営業利益	282億円
営業利益率	11.2%
経常利益	426億円

E2プラン 目標値	増減 対2016年3月期実績
230億円	+52億円
9.5%	+1.7pt
310億円	+116億円

有利子負債残高 ※1	3,389億円
EBITDA倍率 ※2	6.6倍

3,550億円	△161億円
7.7倍	△1.1pt

※1 有利子負債残高にはリース債務を含む

※2 EBITDA倍率 = 有利子負債 ÷ (営業利益 + 減価償却費)

## 「E2プラン」における主な取り組み

コア事業である運輸業を中心に堅実な事業運営を推進するとともに、有利子負債の削減を進めることにより、引き続き安定した事業成長を目指す。

### ■ 基本方針の柱

### ■ 主な取り組み

安全・安心な  
サービスの提供

- 連続立体交差事業の推進
- 鉄道施設の安全性及び利便性向上
- 鉄道の保安度向上
- 安全管理体制の強化

京成エリアにおける  
営業力強化

- スカイライナー及び成田スカイアクセスの利便性向上
- 海外での営業活動及び広告宣伝の強化
- 成田空港発着路線を中心とする高速バスの利便性向上
- グループ資産を活用した賃貸資産の拡充
- 沿線における中高層住宅の販売

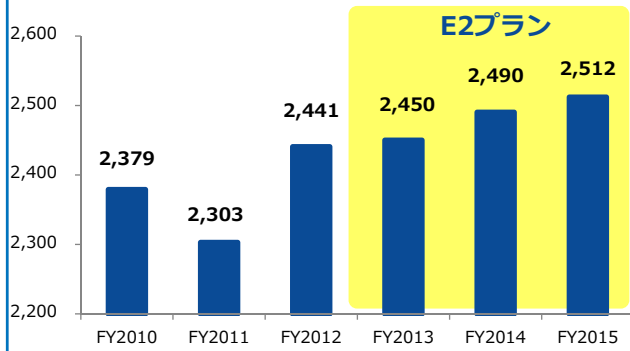
財務体質の  
更なる強化

- 有利子負債残高の削減
- 不採算事業の整理・再建
- 格付け向上

# 「E2プラン」期間の業績推移

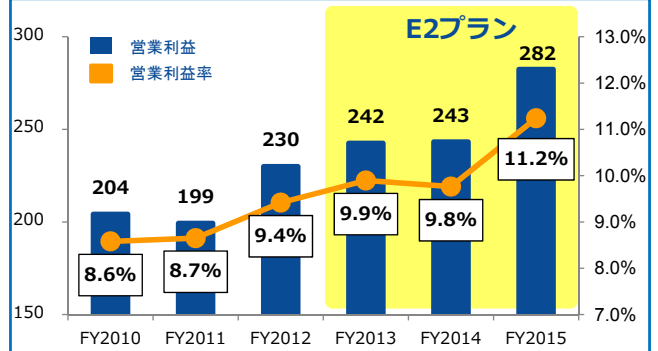
## ■ 営業収益

(単位：億円)



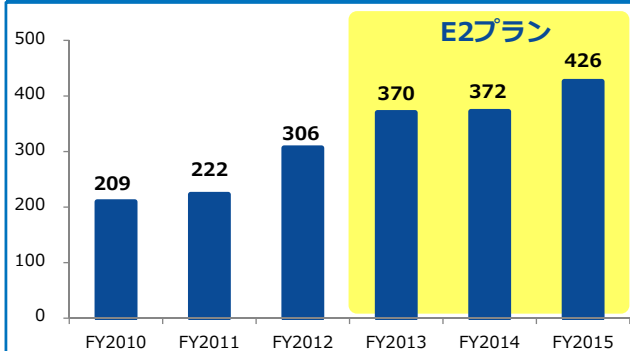
## ■ 営業利益・営業利益率

(単位：億円、%)



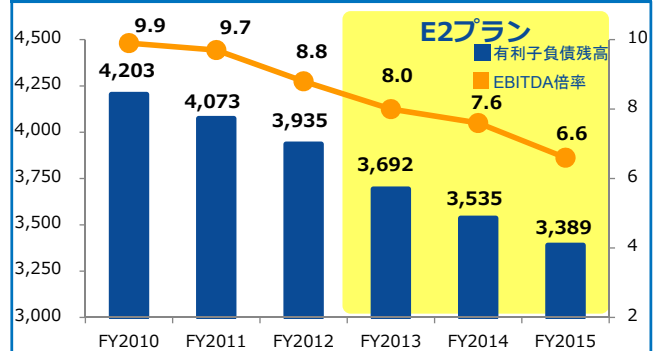
## ■ 経常利益

(単位：億円)



## ■ 有利子負債・EBITDA倍率

(単位：億円、倍)



# メモ

## セグメント別 営業収益推移

成田空港輸送等の好調により、収益全体ではE1プラン最終年度と比較し増収

単位：億円	E1プラン	E2プラン						
	2013年3月期	2014年3月期		2015年3月期		2016年3月期		
	実績	実績	対前年	実績	対前年	実績	対前年	対2013年3月期
運輸業	1,319	1,351	2.4%	1,353	0.2%	1,399	3.4%	6.1%
流通業	734	722	△1.6%	701	△2.9%	698	△0.5%	△4.9%
不動産業	225	210	△6.6%	218	3.7%	221	1.4%	△1.8%
レジャー・サービス業	104	103	△0.6%	100	△2.9%	101	0.9%	△2.6%
建設業	202	218	8.1%	271	24.4%	250	△7.8%	23.9%
その他の事業	53	49	△6.9%	50	1.6%	50	△0.3%	△5.7%
合計 (連結修正後)	2,441	2,450	0.4%	2,490	1.6%	2,512	0.9%	2.9%

## セグメント別 営業利益推移

各セグメントにおいて、効率的な経営を推進した結果、E1プラン最終年度と比較し増益

単位：億円	E1プラン	E2プラン						
	2013年3月期	2014年3月期		2015年3月期		2016年3月期		
	実績	実績	対前年	実績	対前年	実績	対前年	対2013年3月期
運輸業	168	173	3.1%	159	△8.0%	184	15.3%	9.4%
流通業	11	10	△12.8%	11	9.7%	12	9.7%	5.0%
不動産業	38	46	21.4%	56	20.6%	67	20.2%	76.1%
レジャー・サービス業	3	1	△50.4%	0	△77.8%	3	836.7%	3.7%
建設業	5	7	36.8%	10	32.0%	12	29.9%	134.7%
その他の事業	3	3	△9.3%	4	52.5%	4	△18.2%	13.1%
合計 (連結修正後)	230	242	5.5%	243	0.3%	282	16.1%	22.8%

## 各セグメント別の主な実績（1）

### 運輸業（鉄道事業）

- スカイライナー最終便繰下げ（2013年10月）及び増発（2014年11月）
- アクセス特急増発（2015年12月）
- 乗換検索サイトの経路検索結果からダイレクトにスカイライナーチケット購入が可能に（2013年9月）
- スカイライナーバリューチケットをバニラエア機内で発売開始（2013年12月）
- Skyliner e-ticketのサービス開始（2014年3月）
- Keisei Skyliner & Tokyo Subway Ticketの発売（2014年7月）
- 韓国の空港鉄道と広告宣伝、旅客誘致における協力体制を構築（2014年9月）
- 成田空港第3ターミナルへの対応（2015年4月）
  - ・自動券売機、発車時刻表示機を設置
- 墨田区内連続立体交差事業の推進
- バリアフリー化の推進（京成八幡駅他）
- 高架橋柱における耐震補強工事の推進
- デジタルATS化の推進

### 運輸業（バス事業）

- 東京シャトルの増便（運行開始時30便→113便へ増便）
- 東京駅前に京成高速バスラウンジを開設（2014年7月）
- 成田空港第3ターミナルへの対応（2015年4月）
  - ・成田空港発着路線を第3ターミナルへ乗入れ
  - ・成田空港内ターミナル連絡バスの増便



運行開始5周年を迎えた新型スカイライナー

## 各セグメント別の主な実績（2）

### 運輸業（タクシー事業）

- 無料アプリによるタクシー配車サービス「ココきて・TAXI」開始（2013年6月）
- 千葉県内グループタクシーのデザイン統一【行燈、車体デザイン】（2014年3月）
- 千葉市内湾岸地区でのタクシー営業所新設（2014年12月）
- 車検整備業務の集約化（2014年10月）

### 流通業

- 駅売店のコンビニエンスストア化（21店舗）
- 「リブレ京成」店舗リニューアル（3店舗）
- 「リブレ京成」不採算店舗の閉鎖（5店舗）

### 不動産業

- 分譲マンションの販売
  - ・サングランデ千住曙町（2013年6月販売開始）
  - ・サングランデ千住大橋（2013年6月販売開始）
  - ・サングランデ船橋宮本（2014年3月販売開始）
- 賃貸資産の拡充
  - ・京成バス船橋営業所跡地開発（2015年2月）
  - ・押上旧本社跡地開発（2015年11月）

### レジャー・サービス業

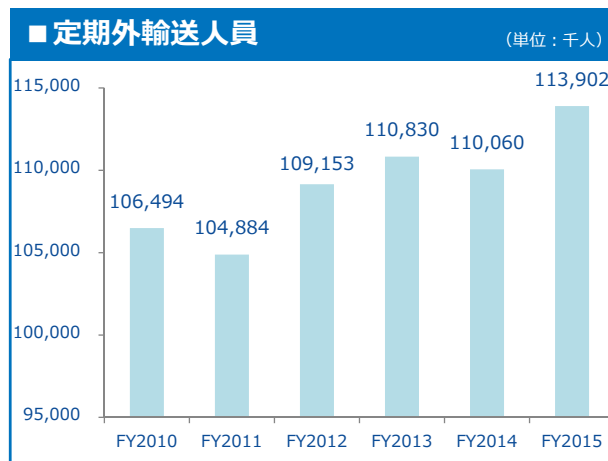
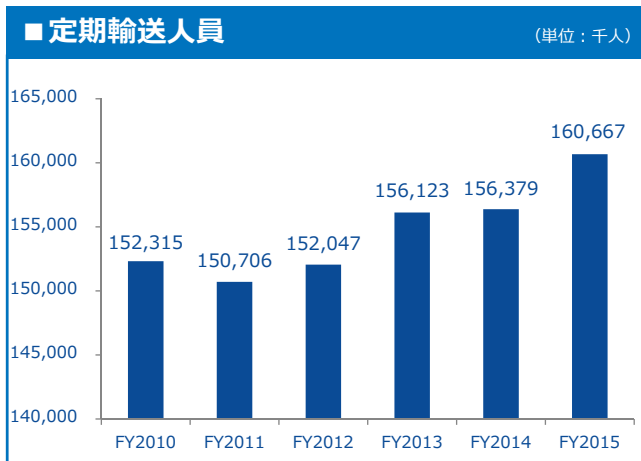
- 京成ホテルミラマーレ内レストランの改装



分譲マンション サングランデ船橋宮本

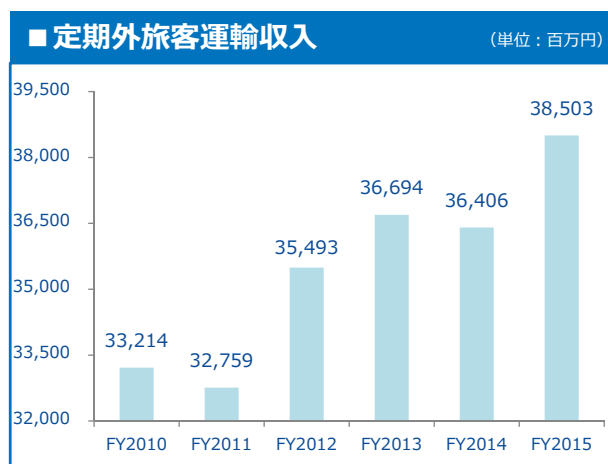
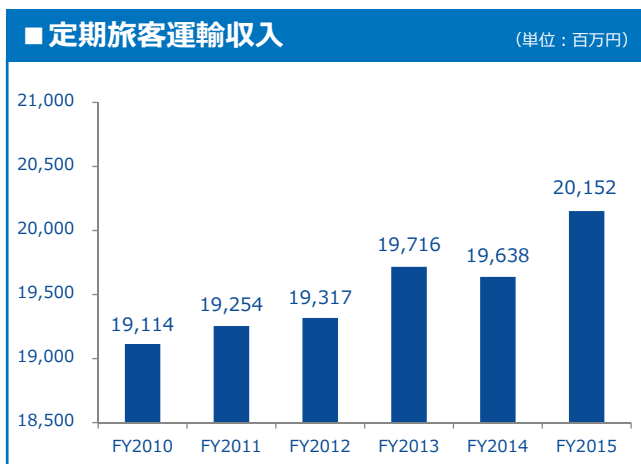
# 当社 鉄道輸送人員推移

単位:千人	E1プラン	E2プラン						
	2013年3月期	2014年3月期		2015年3月期		2016年3月期		
	実績	実績	対前年	実績	対前年	実績	対前年	対2013年3月期
定期	152,047	156,123	2.7%	156,379	0.2%	160,667	2.7%	5.7%
定期外	109,153	110,830	1.5%	110,060	△0.7%	113,902	3.5%	4.4%
輸送人員合計	261,200	266,953	2.2%	266,439	△0.2%	274,569	3.1%	5.1%



# 当社 鉄道旅客運輸収入推移

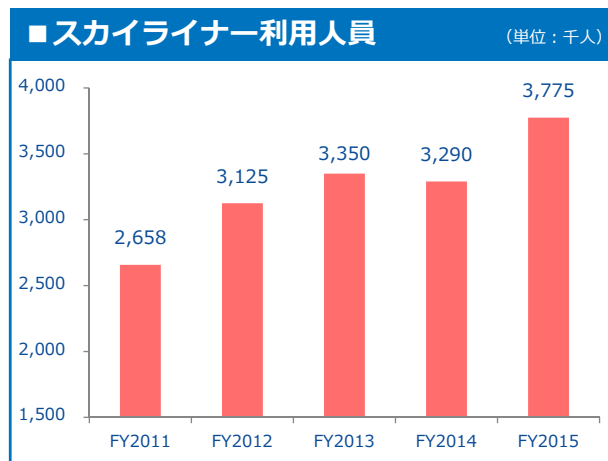
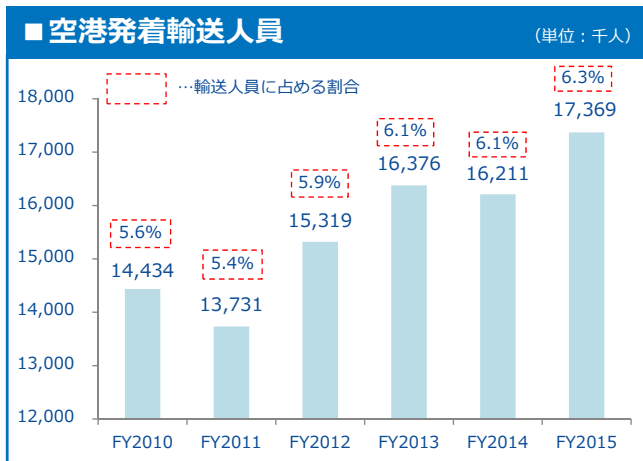
単位:百万円	E1プラン	E2プラン						
	2013年3月期	2014年3月期		2015年3月期		2016年3月期		
	実績	実績	対前年	実績	対前年	実績	対前年	対2013年3月期
定期	19,317	19,716	2.1%	19,638	△0.4%	20,152	2.6%	4.3%
定期外	35,493	36,694	3.4%	36,406	△0.8%	38,503	5.8%	8.5%
運輸収入合計	54,811	56,411	2.9%	56,045	△0.6%	58,655	4.7%	7.0%



# 成田空港発着 鉄道輸送人員推移



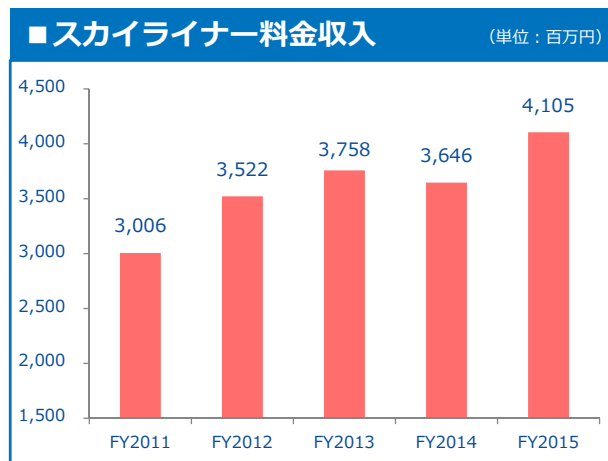
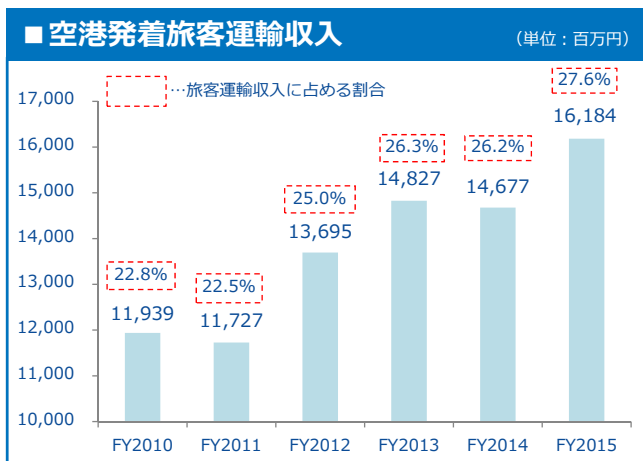
単位:千人	E1プラン	E2プラン						
	2013年3月期	2014年3月期		2015年3月期		2016年3月期		
	実績	実績	対前年	実績	対前年	実績	対前年	対2013年3月期
輸送人員	15,319	16,376	6.9%	16,211	△1.0%	17,369	7.1%	13.4%
内スカイライナー利用人員	3,125	3,350	7.2%	3,290	△1.8%	3,775	14.7%	20.8%



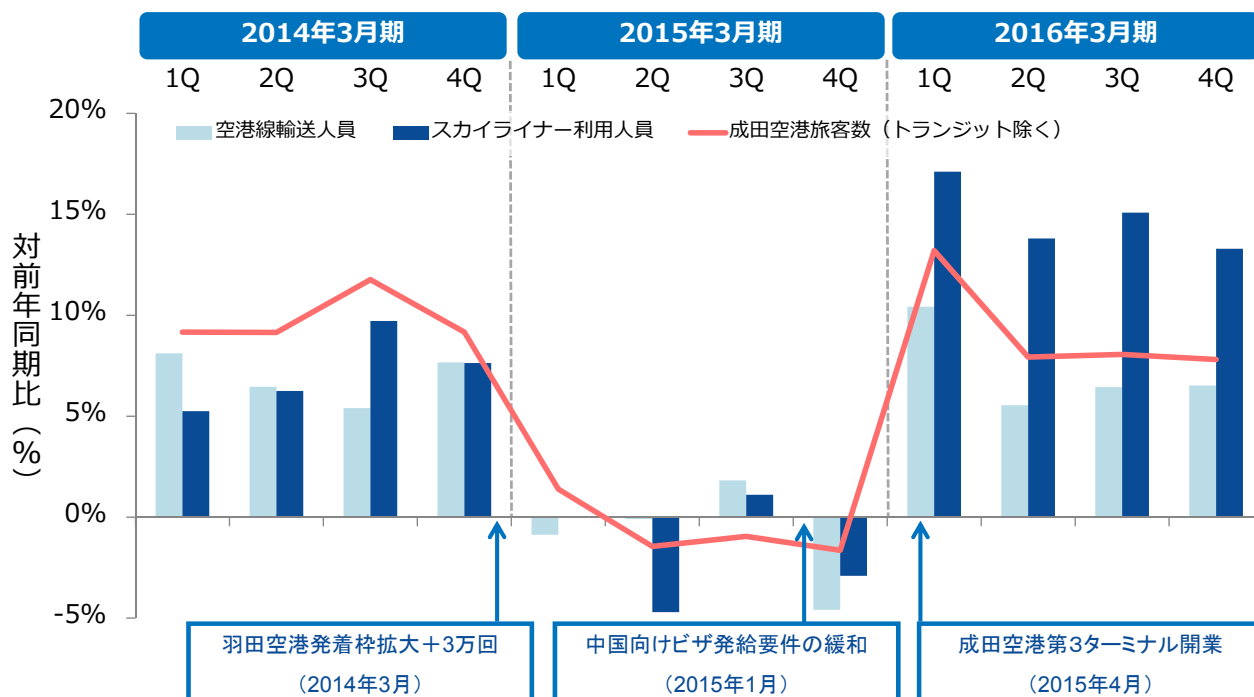
# 成田空港発着 旅客運輸収入推移



単位:百万円	E1プラン	E2プラン						
	2013年3月期	2014年3月期		2015年3月期		2016年3月期		
	実績	実績	対前年	実績	対前年	実績	対前年	対2013年3月期
旅客運輸収入	13,695	14,827	8.3%	14,677	△1.0%	16,184	10.3%	18.2%
内スカイライナー料金収入	3,522	3,758	6.7%	3,646	△3.0%	4,105	12.6%	16.6%



羽田空港発着枠拡大の影響による影響を受けたものの、2016年3月期は、スカイライナーが成田空港旅客数の増加率を上回るなど好調に推移



## 目次

1. 中期経営計画「E2プラン」の総括
2. 京成グループの取り組み
3. 2016年3月期 連結決算
4. 2017年3月期 連結業績予想
5. 連結業績の推移
6. 参考資料

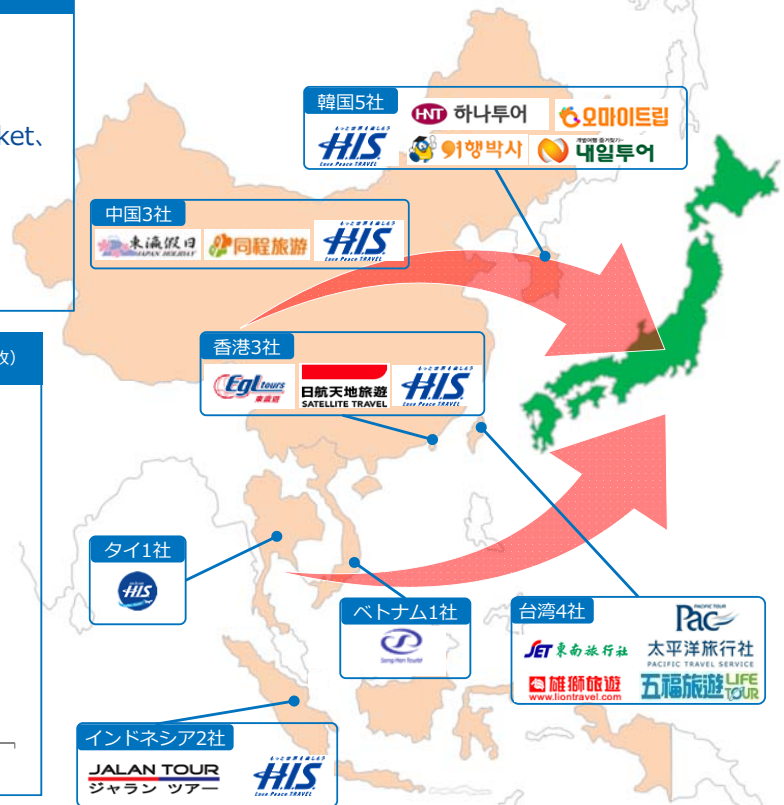


# インバウンド需要の取り込み

## ■ 訪日外国人向け商品の販売促進

- 現地取扱い旅行会社・商品の拡充
- インターネット販売商品の拡充
  - ・ Keisei Skyliner & Tokyo Subway Ticket、スカイライナー往復券の販売開始
- 海外の旅行会社、メディア、ブロガーを対象に招聘ツアーを実施

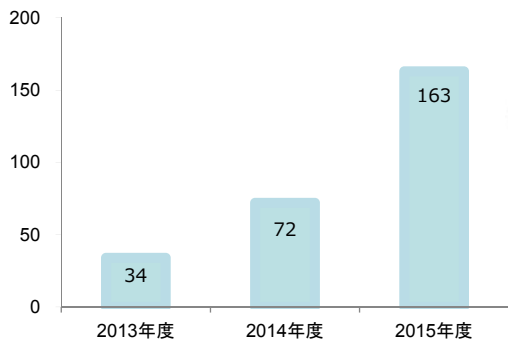
## □ 海外における乗車券販売体制



## (参考) 販売実績

(単位: 千枚)

Keisei Skyliner & Tokyo Subway Ticket



# インバウンド需要の取り込み

## ■ 訪日外国人受入体制の整備

- SKYLINER & KEISEI INFORMATION CENTERを空港第2ビル駅に開設
  - ・ 日本政府観光局 (J N T O) による外国人観光案内所の認定制度「カテゴリー 3」を取得
- お客様ご案内用タブレットを京成線全駅に導入
  - ・ 多言語音声翻訳アプリを搭載
- 東京シャトルに無料Wi-Fiを試験導入
- 京成ホテル「ミラマーレ」の設備リニューアル
  - ・ 無料Wi-Fiの導入、4人部屋の増室
- 訪日外国人向け観光情報サービス「LIVE JAPAN」への参画



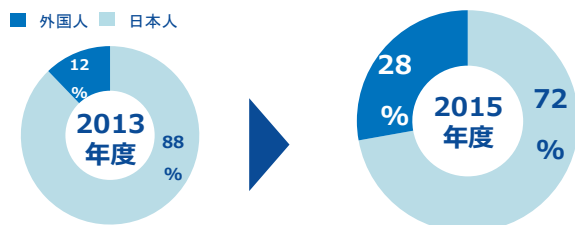
SKYLINER&KEISEI INFORMATION CENTER



客室リニューアル

## (参考) スカイライナー利用者外国人比率

出典: 当社調査



## ■ 宿泊主体型ホテル事業への参入

- ロイヤルホールディングス株式会社と共同出資による合弁会社を設立 (2017年3月予定)
  - ・ 第1号ホテルを開業予定 (2018年度)

## ■スカイライナーの 프로모ーション展開

- 韓国空港鉄道とのプロモーション
  - ・共同キャンペーンの展開
- 南海電鉄とのコラボレーション
  - ・成田・関空スカイライナー&ラピートきつぷの販売
- 西日本鉄道との企画乗車券相互販売
  - ・西鉄福岡(天神)駅にて「スカイライナーバリューチケット」を発売
- 海外旅行博への出展
  - ・台北国際旅行博
  - ・タイ国際旅行フェア



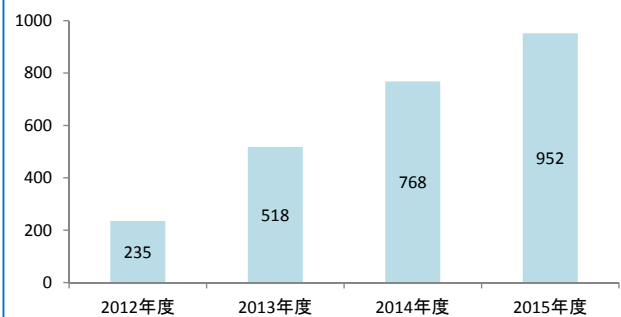
## ■東京シャトルの認知度向上策

- お客様300万人達成キャンペーンの展開
- ICカード割引キャンペーンの展開
- 小児運賃の導入



## (参考) 東京シャトル運送収入

(単位: 百万円)



# 京成エリアの開発

## ■グループ資産の有効活用

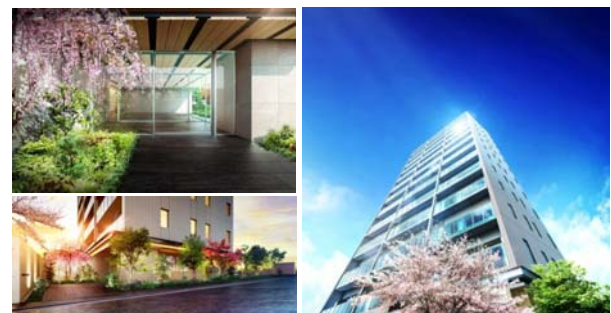
- 押上旧本社跡地活用 (京成押上ビル)
  - ・リッチモンドホテル、ライフ(スーパー)に賃貸
- 京成バス船橋営業所跡地活用
  - ・分譲マンション「サングランデ船橋宮本」完売
  - ・コーナン(ホームセンター)に賃貸
- タクシー車庫跡地活用
  - ・分譲マンション「サングランデ松戸」販売開始



京成押上ビル

## ■賃貸資産の拡充

- 曳舟高架下開発計画の推進
  - ・高架下利用のゾーニング策定、テナントリーシングを実施中
- 船橋高架下の高度利用を推進
  - ・賃貸保育施設、飲食店舗の建設
- 大田区萩中賃貸住宅の取得



サングランデ松戸

## ■ 運輸ネットワークの強化・拡大

- 東京都と連携したBRT事業の推進
  - ・ 事業計画決定
- バスタ新宿への乗り入れ
  - ・ 東京ディズニーリゾート線、土気線
- 成田空港アクセスバス路線の拡充
  - ・ 圏央道経由へのルート変更による時間短縮
  - ・ 宇都宮線の一部便を日光へ延伸
  - ・ 川越線の一部便を森林公園駅へ延伸
- タクシー共同配車エリアの拡大



川越線で運行する車両

## ■ 沿線需要の喚起

- 沿線アウトレットとの共同キャンペーン
  - ・ 酒々井プレミアムアウトレット
  - ・ 三井アウトレットパーク幕張



## ■ 生活関連事業の強化

- リブレ京成千葉寺店リニューアルオープン
- 販売店のコンビニエンスストア化を推進



リブレ京成千葉寺店

# 安全・安心への取り組み

## ■ 駅設備の利便性・快適性向上

- 京成津田沼駅駅舎改良工事を完了
  - ・ ウォークインタイプ改札設置
  - ・ エスカレーター増設
- 運行情報ディスプレイを京成線全駅に設置



京成津田沼駅駅舎改良工事

## ■ 環境負荷低減対策

- 太陽光発電所の開設
  - ・ 「ちはら台太陽光発電所」を開設し、発電を開始
- 省エネ車両の導入推進
  - ・ ハイヤー車両に燃料電池自動車を導入



ちはら台太陽光発電所



MIRAI (ハイヤー車両)

## ■ 連続立体交差事業の推進

- 墨田区内連続立体交差化
  - ・ 高架化完了
  - ・ 区間内8箇所の踏切を除却
- 葛飾区内連続立体交差化
  - ・ 工事着工



墨田区内連続立体交差化

## ■ 災害対策の強化

- 耐震補強工事の推進
- 法面補強工事の推進
- 事業継続計画（BCP）策定



成田駅法面補強

1. 中期経営計画「E2プラン」の総括
2. 京成グループの取り組み
- 3. 2016年3月期 連結決算**
4. 2017年3月期 連結業績予想
5. 連結業績の推移
6. 参考資料

 年度の業績(前期比較)

(単位:百万円、%)

	2016年3月期 実績	2015年3月期 実績	増減	増減率
営業収益	251,204	249,016	2,188	0.9
営業利益	28,234	24,313	3,921	16.1
(営業利益率)	11.2	9.8	1.4pt	—
経常利益	42,572	37,169	5,402	14.5
うち持分法投資利益	17,197	16,197	999	6.2
親会社株主に帰属する 当期純利益 ※1	30,997	25,683	5,314	20.7
EBITDA倍率 ※2	6.6倍	7.6倍	△1.0pt	—

※1 2015年3月期実績については「当期純利益」を表しています。

※2 EBITDA倍率 = 有利子負債残高 ÷ (営業利益 + 減価償却費)

なお、有利子負債残高にはリース債務を含みます。

## 2016年3月期 連結決算（2）

 年度の業績(前回予想比較)

(単位:百万円、%)

	2016年3月期 実績	2016年3月期 前回予想	増減	増減率
営業収益	251,204	249,900	1,304	0.5
営業利益	28,234	26,800	1,434	5.4
(営業利益率)	11.2	10.7	0.5pt	—
経常利益	42,572	40,800	1,772	4.3
うち持分法投資利益	17,197	16,800	397	2.4
親会社株主に帰属する 当期純利益	30,997	29,400	1,597	5.4
EBITDA倍率	6.6倍	6.9倍	△0.3pt	—

※前回予想は2015年10月30日付第2四半期決算短信発表値です。

## 2016年3月期 連結決算（3）

### 営業収益(セグメント別)

(単位: 百万円)

	2016年3月期 実績	2015年3月期 実績	増減	2016年3月期 前回予想	増減
運輸業	139,922	135,319	4,602	139,000	922
流通業	69,758	70,096	△ 338	69,900	△ 141
不動産業	22,092	21,785	306	22,300	△ 207
レジャー・サービス業	10,111	10,018	93	10,100	11
建設業	24,989	27,117	△ 2,127	24,000	989
その他の事業	4,990	5,006	△ 16	4,800	190
計	271,864	269,344	2,520	270,100	1,764
消去又は全社	△ 20,660	△ 20,328	△ 331	△ 20,200	△ 460
連結	251,204	249,016	2,188	249,900	1,304

前期比

運輸業  
建設業

鉄道事業・バス事業の増  
完成工事高の減

前回予想比

運輸業  
建設業

鉄道事業・バス事業の増  
完成工事高の増

## 2016年3月期 連結決算（4）

### 営業収益(主なセグメントの内訳)

(単位: 百万円)

	2016年3月期 実績	2015年3月期 実績	増減	2016年3月期 前回予想	増減
鉄道事業	74,658	71,829	2,828	74,200	458
バス事業	43,303	41,926	1,376	42,800	503
タクシー事業	21,960	21,563	397	22,000	△ 39
運輸業計	139,922	135,319	4,602	139,000	922
ストア業	37,607	37,280	326	37,500	107
百貨店業	25,889	26,341	△ 451	25,800	89
その他	6,261	6,474	△ 213	6,600	△ 338
流通業計	69,758	70,096	△ 338	69,900	△ 141
不動産販売業	9,172	9,419	△ 246	9,300	△ 127
不動産賃貸業	9,667	9,046	621	9,700	△ 32
不動産管理業	3,251	3,320	△ 68	3,300	△ 48
不動産業計	22,092	21,785	306	22,300	△ 207

前期比

鉄道事業  
バス事業

空港輸送の増  
乗合・高速収入の増

前回予想比

鉄道事業  
バス事業

空港輸送の増  
高速・貸切収入の増

## 2016年3月期 連結決算（5）

### 営業利益(セグメント別)

(単位: 百万円)

	2016年3月期 実績	2015年3月期 実績	増減	2016年3月期 前回予想	増減
運輸業	18,358	15,917	2,441	17,800	558
流通業	1,164	1,061	103	1,100	64
不動産業	6,715	5,586	1,129	6,600	115
レジャー・サービス業	281	30	251	200	81
建設業	1,237	952	284	700	537
その他の事業	354	433	△ 78	300	54
計	28,112	23,981	4,131	26,700	1,412
消去又は全社	122	332	△ 210	100	22
連結	28,234	24,313	3,921	26,800	1,434

前期比

運輸業  
不動産業

鉄道事業・バス事業の増  
不動産販売業の増

前回予想比

運輸業  
建設業

バス事業の増  
増収の影響、利益率の向上

## 2016年3月期 連結決算（6）

### 営業利益(主なセグメントの内訳)

(単位: 百万円)

	2016年3月期 実績	2015年3月期 実績	増減	2016年3月期 前回予想	増減
鉄道事業	12,990	11,657	1,333	13,100	△ 109
バス事業	4,452	3,550	901	3,800	652
タクシー事業	915	708	206	900	15
運輸業計	18,358	15,917	2,441	17,800	558
ストア業	760	714	46	700	60
百貨店業	78	37	41	100	△ 21
その他	326	309	16	300	26
流通業計	1,164	1,061	103	1,100	64
不動産販売業	1,892	1,134	758	1,800	92
不動産賃貸業	4,622	4,241	381	4,600	22
不動産管理業	200	210	△ 9	200	0
不動産業計	6,715	5,586	1,129	6,600	115

前期比

鉄道事業  
バス事業

増収の影響  
増収の影響、燃料費の減

前回予想比

バス事業

増収の影響、燃料費の減

 連結キャッシュ・フロー

(単位:百万円)

	2016年3月期 実績	2015年3月期 実績	増減
営業活動による キャッシュ・フロー	45,759	48,223	△ 2,464
投資活動による キャッシュ・フロー	△ 19,372	△ 27,606	8,233
フリー キャッシュ・フロー	26,386	20,617	5,768
財務活動による キャッシュ・フロー	△ 19,922	△ 22,294	2,371
当期キャッシュ・フロー	6,464	△ 1,676	8,140

## 2016年3月期 連結決算（8）

 連結貸借対照表

(単位:百万円、%)

	2016年3月期	2015年3月期	増減	増減率	差異内訳
流動資産	98,839	91,761	7,078	7.7	
固定資産	682,322	690,393	△ 8,070	△ 1.2	圧縮記帳による減
<b>資産合計</b>	<b>781,280</b>	<b>782,257</b>	<b>△ 977</b>	<b>△ 0.1</b>	
流動負債	200,601	219,553	△ 18,951	△ 8.6	
固定負債	284,303	295,081	△ 10,777	△ 3.7	
<b>負債合計</b>	<b>484,905</b>	<b>514,635</b>	<b>△ 29,729</b>	<b>△ 5.8</b>	社債・借入金の減
自己資本	287,843	260,918	26,924	10.3	
<b>純資産合計</b>	<b>296,374</b>	<b>267,622</b>	<b>28,752</b>	<b>10.7</b>	利益剰余金の増
<b>負債純資産合計</b>	<b>781,280</b>	<b>782,257</b>	<b>△ 977</b>	<b>△ 0.1</b>	

自己資本比率	36.8	33.4	3.4pt	—	
--------	------	------	-------	---	--



1. 中期経営計画「E2プラン」の総括
2. 京成グループの取り組み
3. 2016年3月期 連結決算
4. **2017年3月期 連結業績予想**
5. 連結業績の推移
6. 参考資料

## 2017年3月期 連結業績予想（1）

### ■ 次期の業績予想(当期比較)

(単位：百万円、%)

	2017年3月期 予想	2016年3月期 実績	増減	増減率
営業収益	247,000	251,204	△ 4,204	△ 1.7
営業利益	27,000	28,234	△ 1,234	△ 4.4
(営業利益率)	10.9	11.2	△0.3pt	—
経常利益	42,600	42,572	28	0.1
うち持分法投資利益	18,200	17,197	1,002	5.8
親会社株主に帰属する 当期純利益	31,800	30,997	803	2.6
EBITDA倍率 ※	6.4倍	6.6倍	△0.2pt	—

※ EBITDA倍率 = 有利子負債残高 ÷ (営業利益 + 減価償却費)

なお、有利子負債残高にはリース債務を含みます。

## 2017年3月期 連結業績予想（2）

### 営業収益(セグメント別)

(単位: 百万円、%)

	2017年3月期 予想	2016年3月期 実績	増減	増減率	差異内訳
運輸業	142,600	139,922	2,677	1.9	鉄道事業・ タクシー事業の増
流通業	69,900	69,758	141	0.2	
不動産業	17,100	22,092	△ 4,992	△ 22.6	不動産販売業の減
レジャー・サービス業	9,900	10,111	△ 211	△ 2.1	
建設業	21,900	24,989	△ 3,089	△ 12.4	完成工事高の減
その他の事業	5,500	4,990	509	10.2	
計	266,900	271,864	△ 4,964	△ 1.8	
消去又は全社	△ 19,900	△ 20,660	760	—	
連結	247,000	251,204	△ 4,204	△ 1.7	

## 2017年3月期 連結業績予想（3）

### 営業収益(主なセグメントの内訳)

(単位: 百万円、%)

	2017年3月期 予想	2016年3月期 実績	増減	増減率	差異内訳
鉄道事業	75,800	74,658	1,141	1.5	
バス事業	43,700	43,303	396	0.9	
タクシー事業	23,100	21,960	1,139	5.2	
運輸業計	142,600	139,922	2,677	1.9	
ストア業	37,100	37,607	△ 507	△ 1.4	
百貨店業	26,200	25,889	310	1.2	
その他	6,600	6,261	338	5.4	
流通業計	69,900	69,758	141	0.2	
不動産販売業	3,600	9,172	△ 5,572	△ 60.8	販売戸数の減
不動産賃貸業	10,400	9,667	732	7.6	
不動産管理業	3,100	3,251	△ 151	△ 4.7	
不動産業計	17,100	22,092	△ 4,992	△ 22.6	

## 2017年3月期 連結業績予想（4）

### 営業利益(セグメント別)

(単位: 百万円、%)

	2017年3月期 予想	2016年3月期 実績	増減	増減率	差異内訳
運輸業	19,300	18,358	941	5.1	鉄道事業の増
流通業	1,100	1,164	△ 64	△ 5.6	
不動産業	5,200	6,715	△ 1,515	△ 22.6	不動産販売業の減
レジャー・サービス業	200	281	△ 81	△ 29.0	
建設業	800	1,237	△ 437	△ 35.4	減収の影響
その他の事業	300	354	△ 54	△ 15.3	
計	26,900	28,112	△ 1,212	△ 4.3	
消去又は全社	100	122	△ 22	△ 18.1	
連結	27,000	28,234	△ 1,234	△ 4.4	

## 2017年3月期 連結業績予想（5）

### 営業利益(主なセグメントの内訳)

(単位: 百万円、%)

	2017年3月期 予想	2016年3月期 実績	増減	増減率	差異内訳
鉄道事業	14,500	12,990	1,509	11.6	増収の影響
バス事業	4,000	4,452	△ 452	△ 10.2	
タクシー事業	800	915	△ 115	△ 12.6	
<b>運輸業計</b>	<b>19,300</b>	<b>18,358</b>	<b>941</b>	<b>5.1</b>	
ストア業	700	760	△ 60	△ 7.9	
百貨店業	100	78	21	27.4	
その他	300	326	△ 26	△ 8.0	
<b>流通業計</b>	<b>1,100</b>	<b>1,164</b>	<b>△ 64</b>	<b>△ 5.6</b>	
不動産販売業	100	1,892	△ 1,792	△ 94.7	減収の影響
不動産賃貸業	5,000	4,622	377	8.2	
不動産管理業	100	200	△ 100	△ 50.2	
<b>不動産業計</b>	<b>5,200</b>	<b>6,715</b>	<b>△ 1,515</b>	<b>△ 22.6</b>	

1. 中期経営計画「E2プラン」の総括
2. 京成グループの取り組み
3. 2016年3月期 連結決算
4. 2017年3月期 連結業績予想
- 5. 連結業績の推移**
6. 参考資料

## 業績の推移

（単位：百万円）

	2013年3月期 実績	2014年3月期 実績	2015年3月期 実績	2016年3月期 実績	2017年3月期 予想
営業収益	244,059	244,995	249,016	251,204	247,000
運輸業	131,886	135,062	135,319	139,922	142,600
営業利益	22,984	24,244	24,313	28,234	27,000
運輸業	16,780	17,308	15,917	18,358	19,300
営業外収益	13,935	18,439	18,418	19,115	19,800
持分法投資利益	11,564	16,051	16,197	17,197	18,200
営業外費用	6,317	5,704	5,562	4,777	4,200
支払利息	5,806	5,151	4,370	4,013	3,700
経常利益	30,602	36,980	37,169	42,572	42,600
親会社株主に帰属する 当期純利益 ※	21,973	27,048	25,683	30,997	31,800

※2015年3月期実績以前については「当期純利益」を表しています。

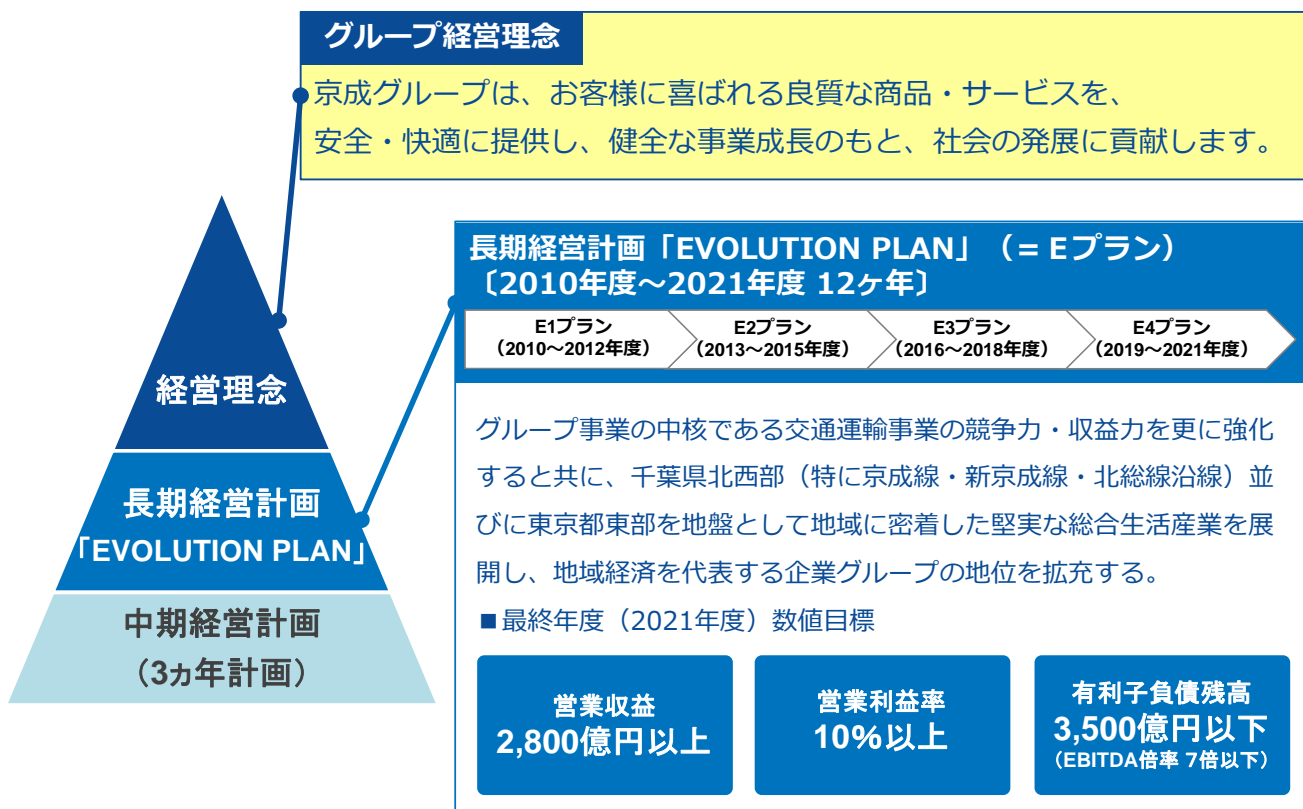
## 有利子負債残高等の推移

（単位：百万円）

	2013年3月期 実績	2014年3月期 実績	2015年3月期 実績	2016年3月期 実績	2017年3月期 予想
借入金・社債等	369,342	345,688	329,342	315,525	297,700
リース債務	24,180	23,545	24,158	23,364	24,400
合計（有利子負債残高）	393,522	369,234	353,501	338,889	322,100
EBITDA倍率	8.8倍	8.0倍	7.6倍	6.6倍	6.4倍

1. 中期経営計画「E2プラン」の総括
2. 京成グループの取り組み
3. 2016年3月期 連結決算
4. 2017年3月期 連結業績予想
5. 連結業績の推移
6. 参考資料

## 「Eプラン」概要



E1・E2プラン  
(2010～2015年度)

E3プラン  
(2016～2018年度)

E4プラン  
(2019～2021年度)

## ■事業環境

- 訪日外国人の急増、成田空港LCC国内線利用者の増加
- 2019年ラグビーW杯日本開催、2020年東京オリンピック・パラリンピック開催
- 国が成田市を国家戦略特区に指定
- 将来的な沿線人口の減少、少子高齢化の進展

## ■当社グループの現況

- 充実した成田空港輸送ネットワーク
- 都内・駅近接地に一定の資産を保有
- 運輸業比率の高い事業ポートフォリオ
- フリー・キャッシュ・フローの創出継続
- 高い財務健全性

成長の実現

収益規模の拡大

成長への収益基盤確立

将来への投資  
(戦略投資枠の設定)

## 成長への基盤整備

- 成田スカイアクセスの開業
- コア事業を中心とした堅実経営
- 投資規模の適正化
- 有利子負債の削減

財務健全性の向上

## ■基本方針

- 持続的な成長に向けた収益拡大への挑戦
- 安全かつ安心なサービスの提供
- 経営基盤の一層の強化

## ■基本戦略

1. インバウンド市場の深耕
2. 事業機会を活かした収益拡大
3. 沿線エリアの魅力向上
4. 安全・安心の確保並びにサービス品質の向上
5. 財務健全性の向上並びにグループ経営体制の充実

## 「E3プラン」数値目標

	2018年度 (目標)	2015年度 (実績)
営業利益	280億円以上	282億円
営業利益率	11%以上	11.2%
経常利益	440億円以上	426億円
有利子負債残高	上限3,250億円	3,389億円
(EBITDA倍率)	上限6.1倍	6.6倍

### 戦略投資枠

中長期的な収益拡大、及びサービス・安全性の向上に資する投資を対象に、「E3プラン」期間で最大400億円を設定

## 「E3プラン」損益計画①

		2018年度 (E3プラン)	2015年度 (実績)	増減
運輸業	営業収益	1,450億円	1,399億円	+51億円
	営業利益	194億円	184億円	+10億円
流通業	営業収益	719億円	698億円	+21億円
	営業利益	11億円	12億円	△1億円
不動産業	営業収益	198億円	221億円	△23億円
	営業利益	59億円	67億円	△8億円
レジャー・サービス業	営業収益	93億円	101億円	△8億円
	営業利益	2億円	3億円	△1億円
建設業	営業収益	241億円	250億円	△9億円
	営業利益	9億円	12億円	△3億円
その他の事業	営業収益	63億円	50億円	+13億円
	営業利益	4億円	4億円	0億円
合計 (連結修正後)	営業収益	2,537億円	2,512億円	+25億円
	営業利益	280億円	282億円	△2億円



		2018年度 (E3プラン)	2015年度 (実績)	伸長
鉄道事業	営業収益	762億円	746億円	+16億円
	営業利益	147億円	130億円	+17億円
バス事業	営業収益	443億円	433億円	+10億円
	営業利益	36億円	45億円	△9億円
タクシー事業	営業収益	245億円	220億円	+25億円
	営業利益	11億円	9億円	+2億円
運輸業計	営業収益	1,450億円	1,399億円	+51億円
	営業利益	194億円	184億円	+10億円

## 宿泊主体型ホテル事業の概要

ロイヤルホールディングス株式会社（以下、「RHD」）と共同出資により合併会社を設立し、リッチモンドホテルを運営するアールエヌティーホテルズ株式会社（以下、「RNT」）が同合併会社の運営業務を受託することに合意（2016年3月）

- 当社・RHD・RNTのノウハウを集結し、  
更なる国内ネットワークの拡大や訪日  
外国人需要の取り込みを強化



**RH** アールエヌティーホテルズ株式会社

- 今後のスケジュール
  - 合併会社の設立（2017年3月予定）
  - 事業開始（2018年度予定）
    - ・第1号ホテルとして、  
（仮称）京成リッチモンドホテル東京門前仲町  
（客室数123室）の開業を予定

### ■ 合併会社の概要

商号	ケイ・アンド・アール・ホテルデベロップメント株式会社
事業内容	宿泊主体型ホテルの運営
資本金	100百万円
設立年月日	2017年3月（予定）
出資比率	京成電鉄株式会社 51% ロイヤルホールディングス株式会社 49%

2015年9月「都心と臨海副都心とを結ぶBRT」の運行事業者に選定され、11月に東京都と基本協定を締結。東京都と協力してBRTの整備を進めており、2016年4月、事業計画を発表。

## ➤ 運行回数・輸送力

時期	平日ピーク時 (1時間あたり)		平日日中及び土休日 (1時間あたり)	
	片道運行 基本便数	輸送力	片道運行 基本便数	輸送力
2019年 (運行開始時)	6便程度	600人程度	6便程度	600人程度
東京2020大会後 (本格運行時)	15便程度	1,500人程度	12便程度	1,200人程度
選手村再開後	20便程度	2,000人程度	12便程度	1,200人程度

- ・平日ピーク時は上記を基本に、需要に応じた対応を図る
- ・将来的には、5,000人/時程度の輸送力確保を目指す

## ➤ 運行会社の設立 (2017年春頃【予定】)

## ➤ 導入車両

- ・単車バスは、燃料電池バスを導入、
- 連節バスは、2020年までの低公害型バス導入
- と将来的に燃料電池連節バスの導入を目指す。



(参考) 幕張地区で運行中の連節バス



# 沿線人口の推移

## 2016年4月、2013年4月 (前中期経営計画「E2プラン」初年度) 比

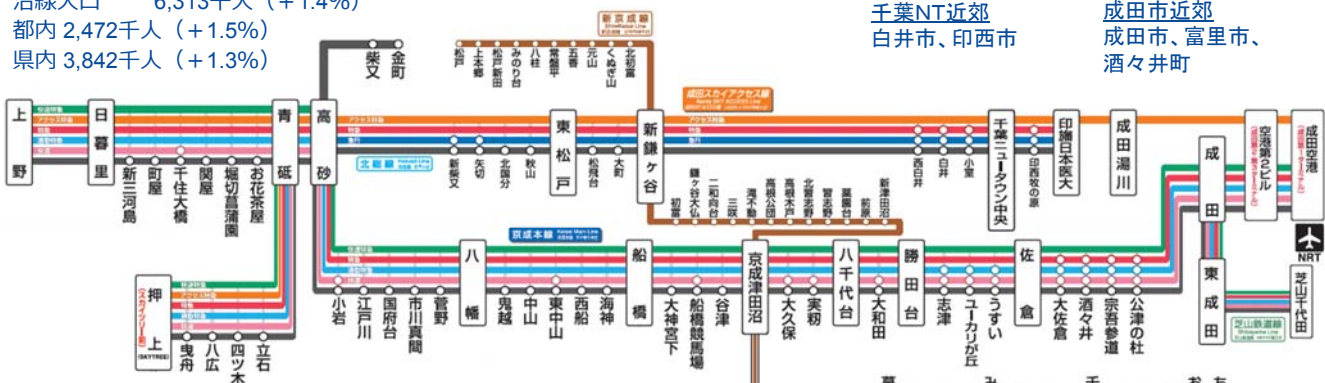
単位:千人

京成エリア 東京都東部・千葉県  
 営業距離 178.8km (当社、北総、新京成)  
 駅数 102駅  
 自治体数 都内6区、県内13市 1町  
 沿線人口 6,313千人 (+1.4%)  
 都内 2,472千人 (+1.5%)  
 県内 3,842千人 (+1.3%)

松戸市(+1.0%)		鎌ヶ谷市(+0.2%)		千葉NT近郊(+2.0%)		成田市近郊(+0.4%)	
13.4月	16.4月	13.4月	16.4月	13.4月	16.4月	13.4月	16.4月
480	485	109	109	152	155	201	202

千葉NT近郊  
白井市、印西市

成田市近郊  
成田市、富里市、  
酒々井町



都内6区  
台東区、荒川区、足立区  
葛飾区、江戸川区、墨田区

市川市(+3.3%)		習志野市(+2.7%)		佐倉市(+0.4%)		千葉市(+1.0%)		市原市(△1.5%)	
13.4月	16.4月	13.4月	16.4月	13.4月	16.4月	13.4月	16.4月	13.4月	16.4月
468	484	165	169	172	173	964	973	278	274
都内6区(+1.5%)		船橋市(+1.9%)		八千代市(+2.1%)					
13.4月	16.4月	13.4月	16.4月	13.4月	16.4月				
2,435	2,472	613	624	190	194				

数値は自治体公表値による

本資料の情報のうち、過去の事実以外のものは将来の見通しであり、リスクや不確実性を含んだものです。実際には様々な要因により異なる結果となる場合があることをご承知おきください。

本資料は、弊社ホームページでご覧いただけます。  
<http://www.keisei.co.jp/keisei/ir/index.html>